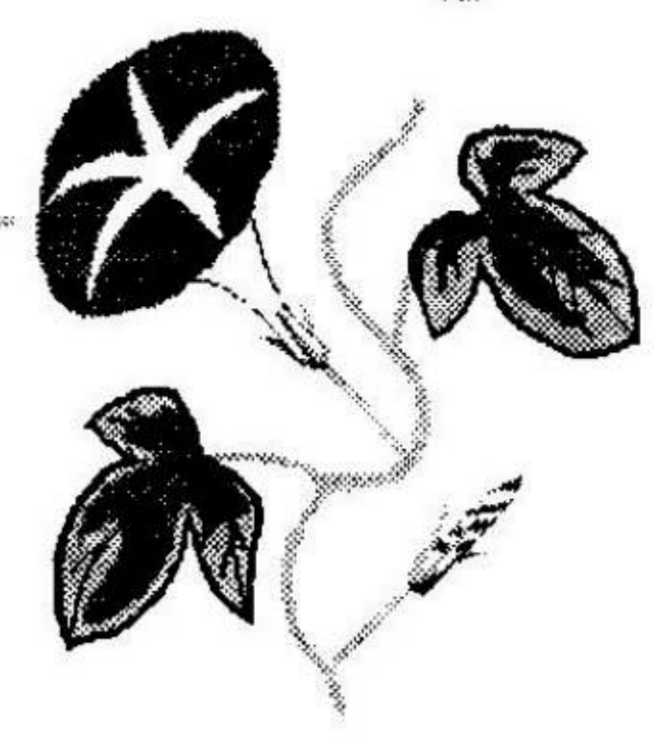


# 土浦平和の会

ニュースNO・107 2001年7月

発行 土浦平和の会  
 事務局 土浦市神立町2664-2  
 TEL 31-9122



## 核兵器廃絶の約束（2000年）実行を！！

20世紀最後の年となった昨年、アメリカやロシアなどの核保有国もふくめた世界の国ぐにが、核兵器廃絶を約束しました。世界中の国の政府が集まって開かれた核不拡散条約(NPT)再検討会議で、「核兵器廃絶の明確な約束」がかわされたのです。1970年に発効したNPTは、一部の国だけに核兵器の保有を認め、その他の国の核保有を一切禁止するという不平等な条約でした。それが昨年4～5月、NPT再検討会議が開かれ、187のすべての参加国が、「核保有国は、自国の核兵器の完全な廃絶を達成」することを「明確に約束」と書きこまれた最終文書に合意しました。

ほとんどの核保有国は、なかなか合意しようとしませんでした。最後には世界中の国ぐにから孤立し、追いつめられ、合意せざるを得なくなったのです。この「核兵器廃絶の明確な約束」は、昨年秋に開かれた国連ミレニアム総会(第55回国連総会)でも「新アジェンダ」諸国提案の決議として、圧倒的多数の支持を得て確認されました。

こうした成果は、6000万をこえた「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名をはじめ半世紀におよぶ被爆国日本の原水爆禁止運動、核兵器廃絶を求める世界諸国民の世論と運動が、「新アジェンダ」諸国や非同盟諸国、非核地帯条約参加国など政府レベルの国際的な反核、平和の動きをあと押ししたことにより生み出されたものです。

アメリカのブッシュ政権は全米ミサイル防衛構想(NMD)推進を宣言し、「約束」をじゅうりんしようとしています。日本政府もこれに”理解する”と回答しました。国際的約束を無視する日米両国の裏切りを許してはなりません。日本国民の断固とした意志を表明するために、2001年原水爆禁止世界大会を成功させましょう。

**原水爆禁止  
 世界大会・長崎  
 参加者募集中  
 とき 8月7日  
 ～9日  
 出発 7日朝  
 帰着 9日夜**

### またも婦女暴行事件

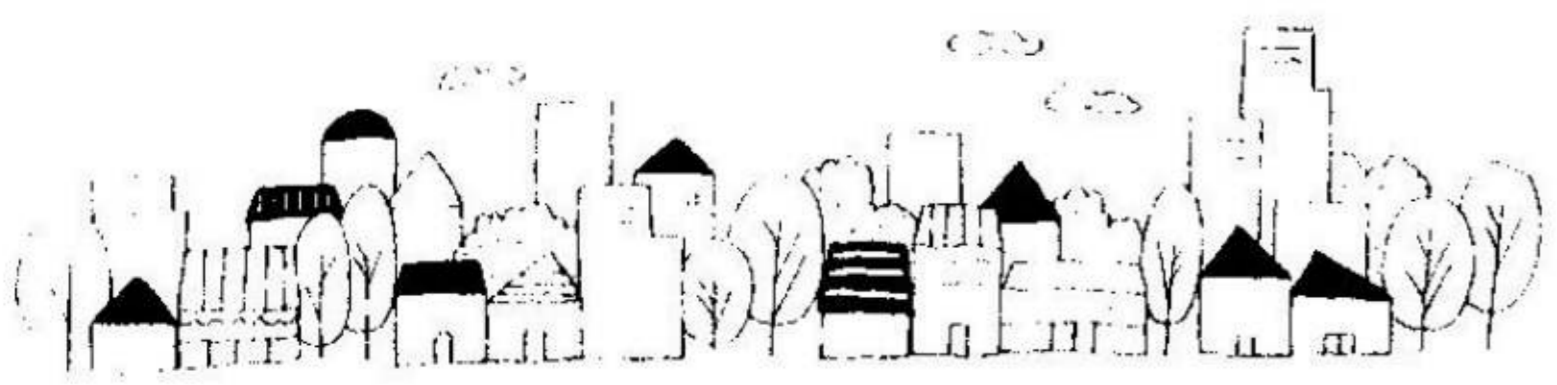
「基地はもういやだ」

米政府に抗議もしない日本政府

沖縄北谷町議会が米軍、日米両政府あての抗議決議、意見書を全会一致で可決しました。その内容は次の4点です。

- 1) 米軍基地集中配備の見直し
- 2) 地位協定の抜本改定
- 3) 米兵の飲酒、深夜徘徊制限
- 4) 被害者への謝罪と誠意ある対応。

北谷町婦人連合会は「立ち上がろう女性たち」集会を計画、「沖縄平和運動センター」は嘉手納基地第1ゲート前で緊急集会を開き、「沖縄から基地をなくし・・・市民連絡会」、琉球大、沖縄国際大学生自治会も抗議集会を計画中、その他地元自治体や市民グループも抗議文を出して怒りが燃え上がっています。



### 行事ごよみ

- 7・7 平和行進石岡・土浦コース
- 7・10 平和の会理事会(1中地区公民館)
- 8・7～9 原水禁世界大会・長崎
- 8・23 平和行進県南実行委員会(つくば)